

探究力を鍛えよう

— 第1学年 SS 基幹探究 探究基礎Ⅱ 報告 —

- ◇期 日 9/10～1/25 の月・水・木曜日
- ◇場 所 富山中部高校 各教室
- ◇参加者 1 学年探究科学科 80 名
- ◇指導者 本校教諭 10 名(数・理・英・国・地歴)

昨年 9 月から週 3 時間、4 か月間にわたって SS 基幹探究の探究基礎Ⅱの活動を行いました。この授業では生徒は 1 学期同様 1 班 16 名の 5 班に分かれ、数学、理科、英語、国語、地歴公民の 5 教科各 6 時間で、探究基礎Ⅰで身につけた読み解く力を踏まえて、各教科の課題に対して、生徒自身で情報収集、実験などを行い、得た情報をまとめ、実際に発表をしました。

数学では、 $x^n - 1$ の因数分解の法則についてデータを収集し数学的に考察しました。理科では、計画を立てて様々な実験を行い、重力加速度を求めました。英語では、想像力を膨らませて考えたオリジナルの商品や、社会的なテーマでプレゼンテーションを行いました。国語では『源氏物語』の和歌についての仮説「現代語訳や解釈には、訳された時代、訳者、媒体などによる差がある」を実証するために様々な文献を調べました。地歴公民では、シャーロック・ホームズシリーズから 19 世紀のイギリスや世界情勢を読み取り、また「ふるさと富山」という資料やインターネットを用いて富山の産業や貿易などについて調査して課題を発見しました。各教科で調べた内容は班の中で発表しあいました。

生徒にとっては探究基礎Ⅰに続く探究活動でしたが、課題や内容が複雑になりレベルが上がったことや、短時間で発表まで進めなければならないことなど、難しさを感じることもありました。しかし活動を通して課題発見力・分析力・実証力・考察力に加え、表現力や情報をまとめる力や、相手に伝える力が身についたと思います。これらの力は、次に行うグループ研究や来年度の発展探究だけでなく、将来にも必要となる力なので、さらに高めていこうと考えています。

